



2016年7月14日

## 大阪府との『包括連携協定』の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、府民サービスの向上や地域活性化に関する取組みにおいて、相互協力のもとに推進するため、大阪府（知事：松井 一郎）と『包括連携に関する協定書』を7月14日に締結しましたのでお知らせします。

### 1. 背景・経緯

- ・ 損保ジャパン日本興亜は、「府民、行政、NPOなどとの地域の課題解決に向けた協働を通じ、持続可能な社会づくりに貢献すること」をCSRの重点課題のひとつとしています。
- ・ そのための取組みとして、損保ジャパン日本興亜は、地域と産業の安定的な繁栄を支援するノウハウを活かし、府民サービスの向上と地域活性化に貢献するため、大阪府に包括連携を提案し、このたび協定に至ったものです。
- ・ なお、大阪府が保険会社と包括連携協定を締結するのは今回が初めてとなり、大阪府としては11社目の包括連携協定締結会社となります。

### 2. 協定の目的

大阪府と損保ジャパン日本興亜は、健康づくりや交通安全など幅広い分野での緊密な相互連携と協働により、府民サービスの向上と地域活性化に取り組みます。

### 3. 協定の主な内容

損保ジャパン日本興亜の強みや特徴が活かせる分野において業務連携を行います。以下の6つの事業を中心に、8分野32項目（大阪府の包括連携協定で過去最大項目数）で連携します。

#### (1) 健康経営の普及促進、府民の健康づくりの推進

グループ会社のSOMPOリスクアマネジメント株式会社の管理栄養士ネットワークを活用して、府内企業向けの「生活習慣病予防セミナー」や「重症化防止対応セミナー」等を実施し、健康経営の普及促進につなげます。また、食育推進企業団への加盟を通じた府内関連事業者との共同イベント開催や、保険募集代理店等を活用した健康づくりPRを行うことにより、府民の食育・健康づくりに貢献します。

#### (2) 大阪府内で自転車を利用される方への団体保険制度創設

7月1日から施行された自転車保険加入義務化条例に対応した、新しい団体保険制度を創設します。廉価で年齢制限なしでどなたでも気軽に加入できる制度を目指します。

#### (3) 大阪産（もん）、大阪製ブランドの販売促進・PRによる地域経済活性化

損保ジャパン日本興亜本社社員食堂での販売会「地方創生マルシェ」で大阪産（もん）を使用した定食の提供や社員向けの「大阪産（もん）物産展」を開催します。また、社内イントラネットを活用し、約2.8万人の社員向けに大阪産（もん）、大阪製ブランドの販売促進に協力します。

#### (4) 御堂筋イルミネーション（大阪・光の饗宴）への協力

御堂筋イルミネーションに対する協賛や損保ジャパン日本興亜大阪ビル（御堂筋沿い）・敷地の活用等を通じて、地域活性化に貢献します。

#### (5) 来阪外国人旅行者の安心・安全確保における連携

災害時における来阪外国人旅行者への情報提供および支援体制の整備など、府が実施する事業へ参画・協力します。

**(6) 障がい者アート公募展「大阪府現代アートの世界に輝く新星発掘プロジェクト」への協賛**

同プロジェクトに協賛し、障がい者による芸術活動を応援します。また、損保ジャパン日本興亜大阪ビル・肥後橋ビルのホールで「障がい者アート展覧会」を開催し、府民に広くPRします。

**4. 今後について**

損保ジャパン日本興亜は、今後も地方自治体と連携しながら、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することに貢献していきます。

以上